

山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第5号

～子どもたちがブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

のざわこども園の現状と課題について

こども園の教育・保育方針にふれて

令和3年度もコロナ禍の中でのスタートとなり半年が過ぎようとしています。

感染症予防対策をしながら、また行事等も制限や限られた内容で試行錯誤しながら進めていますがその中で保護者の方のご協力のもと、子ども達は元気に登園をしています。

また、こども園の4つの特色ある活動（運動あそび・せんのあそび・英語あそび・音楽遊び）については今年度も各クラス・学年ごとに行なっており、子ども達の生き生きした姿が見られます。

こども園となり6年目の年、様々な活動に成果が感じられる反面、課題もあります。

保育参観や公開保育がなかなか実施できない現在、日々のクラスの実態を振り返りながら今後の教育・保育について職員間で連携していきたいと思えます。



のざわこども園の現状として・未満児の割合が増えている・園内に階段がある・駐車場が県道を挟んだ場所にあるため安全面が心配である・避難路（園庭）は冬場かんじきで道を作って確保している・保育室は午睡布団を敷くと窮屈になってしまうなど課題が上げられています。

その課題を解決するために、「のざわこども園建設検討委員会」が立ち上げられました。

委員会は公募や地区代表、関係団体推薦者、職員で構成されています。

園舎の良いところを大事にしつつ、必要な機能や近隣保育園の状況などの情報を収集して、子ども達にとってより良い環境となるよう検討が進められます。



（文責：こども：岸）